



大村高校 この夏の煌めき

第66回NHK杯全国高校放送コンテスト

アナウンス部門 優秀賞 (全国3位)

第43回全国高等学校総合文化祭

アナウンス部門 優秀賞 (最高賞)

令和元年度全国高等学校総合体育大会

漕艇部女子 舵手付きクオドルブル

第5位

全国高等学校ソフトテニス団体選手権大会

5年連続出場

(インターハイ)

令和元年度全国高等学校

総合体育大会テニス競技 出場

第43回全国高等学校総合文化祭

(美術部) 美術工芸部門 出場

(文芸部) 部誌部門・散文部門

出場

たまごニコニコ料理甲子園

(九州沖縄エリア代表) 出場



きらめき

煌 can do!

長崎県立大村高等学校
校長 鶴田 勝也

今年の夏は、天候不順が続き、秋の二大イベントの体育祭・五教祭を実施するにあたり、ゆきもきしましたが、皆様のお陰で無事に感動のうちに終わることができました。

表題のタイトルは、今年度の体育祭・五教祭のテーマからキーワードを並べてみました。体育祭のテーマ『大志創生～新たな感動 We can do!』は、「令和という新しい時代の中で、今、自分たちができることは何かを考えよう。まずはこの体育祭を自分たちで作り上げていこう。そして、これからの新たな大高を築いていこう。大高生はそれができるはずだ、やり遂げてみせる。」という意気込みがこもったとても頼もしいテーマでした。そして、それを具事に実践して見せた大高生の姿にとても感動を受けました。

また、五教祭のテーマ『煌(きらめき)～新たな時代に大高生のかげゆきを～』は、「令和という新しい時代を生き抜く大高生一人ひとりが、明日への希望を抱き、大きな花を開かせぬめくよう、私たちは邁進していきます。」というとても力強い決意を感じ取らせてくれるテーマであったと思います。そして、本番の五教祭では、どのクラス、どの部にもこのテーマを意図し、それを表現しようとする生徒たちの姿がありました。まさに大高生の今が躍めく素晴らしい五教祭となりました。

私は、この二大イベントを通して、大高生が令和という新しい時代の幕明けとともに、まずは、今でできることを一杯やり遂げ、新たな大高を築こうとする姿、そして、これから活躍する時代を自分たちの手で切り拓いていこうという未来を思い描いた逞しい姿を見ることができ、とても頼もしく、嬉しく思えました。こういう感動を味わわせてもらった大高生に心から感謝したいと思った次第です。

「人は感動する心をもつと人生が豊かになる。」と聞いたことがありますが、今回は、生徒たちからその感動をもらい、心豊かになったように思います。何事にも一生懸命に取り組む姿、失敗を恐れず果敢に挑戦する姿、物事を前向きに捉え、未来を思い描いて努力する姿、これらは人に大きな感動をもたらし、そして、元氣と高気を与えてくれるものだ改めて実感した2大イベントでした。

大高生は、この夏もこの紙面で紹介するように、いろいろな取り組みを積極的に行った、新たな取組みに挑戦したりして、大きな成果や成長を遂げています。そして、これからもさらに進化(深化)し、成長を遂げ、令和という新たな時代を切り拓く頼もしい人材を目指していくことでしょう。私たち大人は、そういう若者をサポートし、ともに良き世を創っていく、そう願いたいと思います。

大高は、これから飛躍の秋を迎えます。3年生は受験に向け全力を投入し、1・2年生は定期考査や部活動の新人戦など、両道不敵の実践を果すべく時期となります。体育祭や五教祭で見せた大高生の力強い新たな一歩にさらに燃きかけ、それぞれの目標に向かって大きく飛躍していくことを期待しています。

1年生学習合宿

7月22日(月)から4日間、鳥取市で学習合宿を行いました。1日10時間の学習、また、仲間との集団生活を通して、学習意欲の向上、学習習慣の定着だけでなく、他に対する配慮の大切さなども再確認するよい機会になったようです。緊張と懇話苦闘する姿や学習に没頭する姿、質問教室で熱心に算を傾ける姿などが非常に印象的でした。ここで得た経験を2学年生活の生活にどのように活かすかを意識して1日1日を大切に過ごして欲しいと思います。



3年生学習合宿

7月28日(日)から7日間、鳥取市のホテルシーサイド鳥取で学習合宿を実施しました。それぞれが自己と向き合いながら1日10時間以上の学習に取り組んだことで、大きく自信をつけることができたようです。学習以外の生活も、これまでの経験を生かしてスムーズに送ることができました。これからも刺激し合い、お互いを高めながら自己実現に向けた努力を継続してほしいと思います。



SSHコーナー

◆インフラさく(2年文系希望者72名)

7月10日(水)、SSH探究ⅡBの一環として、『第3回総論演習インフラさく大村』を実施しました。これは、高大宮(国・県・市)民の連携による、インフラに着目した国際的な探究活動です。5月から取り組んできた活動で、第3回日の今回は、10名を超える講師の皆様に加え、11名の学生スタッフの皆様のご協力をいただきました。当日はあいにくの空模様となりフィールドワークの行程を一部変更しての実施となりましたが、インフラを手がかりとした探究活動を通して、生徒のものの見方は大きく変化したと思います。また、自分を取り巻く社会の主体的なかわり方についても、多くのご意見をいただきました。インフラさくで学んだことを、それぞれの後の課題探究に活かしていくことを目指しています。



◆最先端科学技術研修講座(数探探究科2年)

7月31日(水)、数探探究科2年生が、九州シンクロトロン光研究センターと久留米工業大学を訪問し、視察研修を行いました。九州シンクロトロン光研究センターでは、実験ホールとビームラインを見学や研究員からの研究内容の説明を受けました。久留米工業大学では、A、Bの2週に分かれて研修を行いました。A班は、「コンピュータに知識を与える」というテーマで、マイコンボードとコンピュータプログラミングについての講義と実習に取り組みました。



◆SSH生徒研究発表会 in 神戸

8月7日(水)、8日(木)、「SSH生徒研究発表会」が開催され、数探探究科および理科部の生徒8名が参加しました。これは、毎年全国のSSH校と海外からの対応校が一箇所に集い実施されるものです。1日目は、特別講師の方による基調講演と各校のポスター発表が行われました。2日目は、前日の審査で各分野の最高評価を受けた学校による研究発表等が行われました。本校からは「素材を利用した水質浄化について」というタイトルで、理科部の福永 翔太君、田中 流聖君、河本 和士君がポスター発表を行いました。初めての全国の舞台で緊張しながらも、精一杯これまでの研究の成果を伝えようという気持ちで発表しました。また、他校のポスター発表をまわり、素晴らしい研究の数々に目を輝かせながら、研究の進め方を学び、積極的に質問をするなどこれからの研究に活かすべく熱心に活動していました。



家政科活動報告

8月9日(金)9:50~10:45に視聴覚教室で第2回家政科集会をおこないました。今回は、自分の進路を見つめなおし具体的な進路実現対策を目的とした内容でした。進路指導主任の中野先生のお話のあとに、家政科を卒業した3名の先輩のお話を聞きました。志望理由や現在の学習内容・日常生活の紹介だけでなく、高校生の時に得ておくべき各々のアドバイスをいただきました。

3年生からは積極的に質問も出て、その一つ一つ丁寧に答えてくださいました。進路実現のためには、もっと日々の学習を頑張らなければならないと感じた集会になりました。



オープンスクール

令和元年7月24日(水)、「大村高校オープンスクール」を開催しました。各中学校から約590名の中学3年生と保護者の方々に参加していただき、本校体育館での全体への学校紹介や、各教科が設けた体験授業、家政科の実習などを通して、大村高校のことをこれまで以上に知ってもらえる良い機会となりました。

参加していただきました皆様、暑い中誠にありがとうございました。



数理探究科活動報告

■工業技術・環境保健研修

7/12(金)1年生数理探究科は、大村市内にある環境保健研究センター、県工業技術センターに分かれて訪問しました。

環境保健センターでは県民の生活環境の保全及び生命の安全確保を目指していることを学び、水質検査の基本である溶存酸素量測定を行いました。その後、センター主催の公開シンポジウムに参加。「アニサキスによる寄生虫性中毒の現状と予防」という題目で、国立感染症研究所の杉山広先生の講演を聞く貴重な体験ができました。

工業技術センターでは、道順に根拠した研究として、「五島つばき酵母を活用した加工食品の開発」の説明を受けました。その後、高精度3D造形装置の実演、高速度カメラでパスタの折れる瞬間を撮影、画像分析するなど普段では体験できないものばかりでした。

以上の体験を通じて、理系の職業が様々な分野に広がっていること、科学技術が普段の私たちの生活を支えていることを実感できる訪問でした。



■長崎県立大学高大連携理科実験

8/21(水)、数理探究科2年生は「卵のグル化とテクスチャー」と「ラットの解剖とDNAの抽出」の2班に分かれて、長崎県立大学看護栄養学部で理科実験を受けました。

「卵のグル化とテクスチャー」班は、様々な調理方法で数種類の茶わん蒸しやプリンを作り、味や食感の違いを比べました。「ラットの解剖とDNAの抽出」班はラットを解剖・観察した後、臓器からDNAの抽出・観察を行いました。

数理探究科は、自然科学に興味を持っている生徒が多く、今回の実習は生体の構造や機能、身近な食品と化学との関連を深く学び取ることができた貴重な機会となりました。



この夏 中でも特に優秀な成績を残した放送部と漕艇部

放送部

放送部2年：山口雄大（千輝中出身）

僕は今夏、NHK杯全国高校放送コンテスト（東京）と全国高等学校総合文化祭（佐賀）の2つの全国大会のアナウンス部門に出場しました。結果、NHK杯が全国3位（優秀賞）、総文祭はブロック1位の優秀賞を受賞することができました。

長崎県は県選手団として団結して大会に臨むことが物販との大きなちがいです。大会中は抽籤の先生や先輩方にも大変お世話になりました。先輩方はこの大会で引退なので、今後は僕たち2年生が肩全体を引っ張っていかねばならないと思います。

ところで、NHK杯の決勝は、紅白歌合戦も行われるNHKホールで行われています。年末に見るあのステージに立てるとわかったときは嬉しくて泣いてしまいました。しかし、本番では想像していたよりも緊張せずに自分らしいアナウンスができたと思っています。

今後は、初心を忘れずよりよいアナウンスを目指して努力していくつもりです。応援よろしくお願いします。



漕艇部

『全国高等学校総合体育大会ボート競技大会（南九州インターハイ）に出場して！』

漕艇部3年：金崎麗菜（郡中）・山崎明音（西大村中） 尾崎杏樹（郡中）・松尾美里（長田中）・樋口莉胡（玖島中）

私たちは半年間、インターハイ優勝を目指してこのクルーで戦ってきました。予選では勝っていたクルーに準決勝で敗れてしまい、決勝の舞台に立つことができませんでした。いろいろな感情が交わり合う中、仲間や先生方のサポートのおかげで気持ちを切り替えて、順位決定戦に挑むことができました。順位決定戦では、今までの中で1番良い滑りができて、漕ぎ終わった後はみんな笑顔でした。今でも悔しい気持ちは残っていますが、このメンバーで全国で戦えたことを誇りに思います。これまでご指導してくださった先生方、共に戦ってきた漕艇部のみんな、いつも応援してくれた両親や友達には感謝しかありません。最後まで応援していただきありがとうございます。

文責：樋口莉胡



令和元年度 九州高等学校体育大会等の結果

漕艇部女子 九州高等学校体育大会

舵手付き クォドルブル **優勝** 山崎 金崎 松尾 樋口 尾崎

陸上部 九州陸上競技選手権大会 ジュニア男子 400m **優勝**

剣道部 令和元年度「いきいき茨城ゆめ国体」九州ブロック大会 県選抜優勝 本国体出場

令和元年度 第66回全九州高校剣道競技大会 女子団体 ベスト8

番外編 **注目!!** 野球部 令和元年度 中地区新人野球大会 **優勝**

体育祭 ～大志創生～

新たな感動、We can do

総合優勝 緑組団長 上野 幹太（桜が原中出身）

令和になり、はじめての体育祭。サブテーマにもあるように、今年の体育祭はこの伝統ある大村高校に「新たな感動」を呼び起こすことに励みました。「新たな」応援合戦、衣装、装飾、後夜祭などを全員で作り上げた結果、例年にはない「新たな感動」を築き上げることができました。大村高校全体が一つになった瞬間を感じることができました。

この「新たな体育祭」が今年から来年へ、そしてまたその次へと受け継がれて、大高の更なる発展の礎となることを切に願っています。新たな大高を今こころから全員で築き上げましょう！



五教祭

～新たな時代に大高生のかがやきを～

五教祭生徒実行委員長 河本 和士（郡中出身）

今年の五教祭では、各文化部や学級などがそれぞれ輝きを放ち、テーマである「煌～新たな時代に大高生のかがやきを～」にふさわしいものとなりました。どの出し物にもそれぞれの思いが込められ、また、多くの練習を積んできたことがうかがえました。私は今回のような大きな立場に立ったことがなく、至らない部分も多くありました。そんな中、五教祭を成功させることができたのは、生徒会総務や放送部、先生方、そして生徒の皆さんのおかげです。

皆で作りに上げたこの五教祭は私にとって忘れられない大切な思い出となりました。皆さんにとっても、良い思い出になっていれば幸いです。これからの「令和」という新しい時代で盛り、さまざまな場面で活躍しましょう！

